

# 安全データシート

品番 999-07722-X9-027  
08730-K9008

整理番号：1.04  
作成：2015/3/2  
改訂：2016/12/1

製品名： リペアーシーラー PLOS-16 (INNERLINER OVERBUFF SEALANT PLOS-16)

## 1. 化学品及び会社情報

製品名： リペアーシーラー PLOS-16 (INNERLINER OVERBUFF SEALANT PLOS-16)  
会社名： 株式会社プライマタイヤサプライズ  
住所： 〒106-0022 東京都新宿区新宿1-25-14 第2関根ビル 2階  
担当部門： 本社営業部  
緊急連絡電話番号： TEL 03-3358-6908 FAX 03-3358-6954

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類	区分
物理化学的危険性	
引火性液体	区分2
自然発火性液体	区分外
健康に対する有害性	
皮膚腐食性/刺激性	区分2
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分1
環境に対する有害性	
水性環境急性有害性	区分3
水性環境慢性有害性	区分3

\*記載のないものは分類対象外または分類できない

GHSラベル要素

絵表示：



注意喚起語：  
危険有害性情報：

危険  
引火性の高い液体及び蒸気  
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険の恐れ  
皮膚刺激

注意書き： 安全対策

眠気またはめまいの恐れ  
水性生物に非常に強い毒性  
長期継続的影響によって水性生物に非常に強い毒性  
使用前に取り扱い説明書を入手すること。  
すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
保護手袋、保護眼鏡、保護マスクを着用すること。  
熱、火花、裸火、高温体、などの着火源から遠ざけること。一禁煙。  
防爆型の電気機器/換気扇/照明器具/工具を使用すること。静電気放電や火花による引火を防止すること。  
個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。  
屋外または換気のよい場所でのみ使用すること。  
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。  
取り扱い後はよく手を洗うこと。  
環境への放出を避けること。

# 安全データシート

品番 999-07722-X9-027  
08730-K9008

整理番号： 1.04  
作成： 2015/3/2  
改訂： 2016/12/1

製品名： リペアーシーラー PLOS-16 (INNERLINER OVERBUFF SEALANT PLOS-16)

緊急措置	火災の場合には適切な消火方法をとること。 飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。口を水ですすぎ無理に吐かせないこと。 皮膚（または毛髪）に付着した場合：直ちにすべての汚染された衣類を脱ぎ、取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーと石鹸で洗うこと。 吸入した場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 目に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズは容易に外せる場合で洗うこと。
保管	容器を密閉して、冷暗所で施錠して保管すること。水・湿度の多い場所や凍結のおそれのある場所及び火気の近くには置かないでください。
廃棄	内容物や容器の破棄は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分  
化学物質・混合物の区別：  
成分及び含有量

混合物  
石油類溶剤化合物

EC-No.	化学物質名	含有量
CAS No.	67/548/EECに従う分類	
Index	(EC)No. 1272/2008 [CLP]に従う分類	
REACH		
951-024-6	ナフサ(石油.) [炭化水素鉱床, C6-C7, n-アルカン, イソアルカン, 環状化合物, <3%ノルマルヘキ	<70%
64742-49-0	F-高可燃性, Xn-有害, Xi-刺激性, N-環境に対する危険性 R11-38-51-53-65-67	
01-21194755		
215-222-5	酸化亜鉛	<1%
1314-13-2	N-環境に対する危険性 R50-53	
030-013-00-7	水生急性1 (M-Factor=1), 水生慢性 1 (M-Factor=1); H400 H410	
012119463881-32		

化学特性 (化学式)  
官報公示整理番号 (化審法、労働安全衛生法)

危険有害成分  
化学物質管理促進法  
労働安全衛生法  
毒物劇物取締法

## 安全データシート

品番 999-07722-X9-027  
08730-K9008

整理番号： 1.04  
作成： 2015/3/2  
改訂： 2016/12/1

製品名： リペアーシーラー PLOS-16 (INNERLINER OVERBUFF SEALANT PLOS-16)

### 4. 応急措置

一般的な場合：	汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。症状の重い場合には、医療処置を受ける事。患者を汚染地域より遠ざけ、安静にさせること。
吸入した場合：	吸引事故の場合、空気の新鮮な場所へ移動させること。直ちに医療措置を受けること。
皮膚に付着した場合：	洗剤と大量の水を使い洗い流すこと。スキนครリームを処置すること。炎症が続く場合、医師の診断を受けること。
眼に入った場合：	直ちに大量の水を使い、まぶたの下を含めて、最低15分間洗浄すること。直ちに医者に診てもらうこと。
飲み込んだ場合：	内科医の指示がある場合のみ、強制的に吐かせること。声帯に有害であることに留意すること。強制的に吐かせようとしないこと。直ちに医者に診てもらうこと。
最も重要な急性及び慢性の症状への影響： 緊急治療の徴候、必要な特別の措置：	皮膚刺激の原因。ねむけやめまいのおそれ。吸引の危険性に留意。症状を治療

### 5. 火災時の措置

消火剤：	耐アルコール消火泡、粉末消火剤、噴霧水、二酸化炭素。
使ってはならない消火剤：	棒状注水
製品火災後の危険品・燃焼反応ガス：	一酸化炭素、二酸化炭素、硫黄酸化物
消火を行う者の保護する為の留意事項： その他の注意事項	独立して空気を供給できる呼吸器を使用すること。防護服を着用すること。気化した蒸気は空気より重く低所に滞留する。たとえ空であっても、洗浄しない容器では、気化した蒸気と空気の混合物は爆発性がある。危険な容器は噴霧水で冷却すること。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置：	気化した蒸気の漏出の場合、マスクを使用すること。皮膚、眼、衣服に付着しないようにすること。十分な換気に心がけること。人員を安全な場所に移動させること。防護服を着用すること。着火源となりうるものを取り除くこと。
環境に対する注意事項：	下水や一般排水、地下水への排水は行わないこと。
除去、清掃方法：	不活性吸収剤（例：砂、シリカゲル、酸性・一般吸収剤）を使用して吸着すること。廃棄に適する容器に回収すること。
他のセクション参照：	保護指示を守ること（セクション7と8参照） 破棄情報（セクション13参照）

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
安全上の注意	容器はしっかりと密閉すること。気化した蒸気は空気より重く低所に滞留する。換気のしっかりとした場所でのみ使用すること。
火災・爆発を防ぐための注意	火気および着火源を取除くこと。喫煙しないこと。適切な静電気対策を行うこと。防爆処理された器機のみを使用すること。

# 安全データシート

品番 999-07722-X9-027  
08730-K9008

整理番号 : 1.04  
作成 : 2015/3/2  
改訂 : 2016/12/1

製品名 : リペアーシーラー PLOS-16 (INNERLINER OVERBUFF SEALANT PLOS-16)

## 保管

保管室、保管容器に関する注意 : 容器はしっかりと密閉し、乾燥した、涼しい、換気の良い場所に保管すること。防爆規定を遵守すること。  
同時保管に関する注意 : 酸との同時保管は行わないこと。  
その他の注意事項 : 飲食物、ペット用の餌を近づけないこと。

## 特定の用途

タイヤ用インナーライナー補修材

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 放置限度 :

### 保護措置

職務上の保護措置 : 特に屋内の場合、十分な換気に注意すること。  
保護・衛生上の対策 : 気化した蒸気を吸引しないこと。  
取扱い終了後、すぐに手を洗うこと。  
取扱中は飲食、喫煙をしないこと。  
保護用スキングリームを使用すること。  
皮膚、眼、衣服への付着を避けること。  
使用を再開する前に汚染された衣服は取り換え、洗濯をすること。

眼、顔の保護 : ゴーグルをしっかりと着用 (EN166)

手の保護 : 硝酸類を含まないコーティング厚み0.4mm以上で耐薬品性があり、およそ480分間の浸透防止能力のある保護手袋を使用すること。(例えばKCL社製の保護手袋<Camatril 735>)。この保護手袋を推奨する理由は、実験室におけるEN374規格に合格しており、化学的に適合性があるため。

呼吸器の保護具 : 安全上の要求事項は使用用途に応じて様々であり、保護手袋メーカーによる推奨をさらにうけることが必要である。  
換気が不十分であれば呼吸保護具を使用。(Aタイプのガスフィルター)  
(EN14387)

皮膚の保護具 : 耐溶剤性の前掛け (EN467)

## 9. 物理的及び化学的性質

### 製品

外観 物理的状态 : 液体  
形状 : 固体  
色 : 黒色  
臭い : 炭化水素臭  
沸点 : 60°C~95°C  
引火点 : < -25°C  
爆発特性 : データなし  
爆発特性 (下限) : 1.1vol.%  
爆発特性 (上限) : 7vol.%  
蒸気圧 (20°C) : 180hPa  
密度 (g/cm<sup>3</sup>) : 0.83  
水溶性 (20°C) : 混和しない

# 安全データシート

品番 999-07722-X9-027  
08730-K9008

整理番号 : 1.04  
作成 : 2015/3/2  
改訂 : 2016/12/1

製品名 : リペアーシーラー PLOS-16 (INNERLINER OVERBUFF SEALANT PLOS-16)

発火点 260°C  
同粘度 : 6000mPa-s データなし  
溶剤含有量: 60-70%

## 10. 安定性及び反応性

反応性 : 指示通り保存、適用された場合分解しない。  
化成品の安定性 通常な状態で安定。  
危険反応の可能性 : 酸化剤に反応する。  
避けるべき状態 : 熱による分解を避けるため加熱させすぎない。  
酸化した蒸気と空気の混合物は、過剰な加熱により爆発性を持つ。  
避けるべき物質 : 酸化剤  
有害な分解生成物 : 一酸化炭素、二酸化炭素、硫黄酸化物

## 11. 有害性情報

有害性影響に関する情報

データに基づく分類基準はなし。  
毒物的データなし。  
ナフサ (石油)

急性毒性 (経口 ラット) : LD50 : 2,000mg/kg

急性毒性 (経皮 ウサギ) : LD50 : 2,000mg/kg

急性毒性 (吸入 ラット) : LD50 : 5mg/l

刺激と腐食性 皮膚刺激を起こす。眼への刺激:分類無し

(増感作用) データに基づく分類基準はなし。

(SPOT-単回暴露) ねむけめまいの原因の恐れ ナフサ (石油) [炭化水素鉱床, C6-C7, n-アルカン, イソアルカン, 環状化合物, <3%ノルマルヘキサ]

繰り返し、長引く露出後の影響 : データに基づく分類基準はなし。

再生による発がん性。  
突然変異誘発性、有毒な影響 : データに基づく分類基準はなし。

呼吸性呼吸器有毒性 : データに基づく分類基準はなし。

テストでの追加情報 : 規制 (EC) no. 1272/2008で指定の評価手順に従った分類

実際の経験 : その他観察  
摂取は胃腸の刺激、吐き気、嘔吐と下痢を引き起こすおそれ。  
高い蒸気の吸入は頭痛、めまい、疲労、吐き気と嘔吐のような徴候を引き起こすおそれ。  
接触は目への刺激の要因。  
繰り返し、長引く露出により製品特性の脱脂による皮膚刺激、皮膚炎のおそれ。

## 安全データシート

品番 999-07722-X9-027  
08730-K9008

整理番号： 1.04  
作成： 2015/3/2  
改訂： 2016/12/1

製品名： リペアーシーラー PLOS-16 (INNERLINER OVERBUFF SEALANT PLOS-16)

### 12. 環境影響情報

毒性：	ナフサ（石油） LC50/EC50/EC50： 1-10mg/1 長期的影響による水生生物への毒性
持続と分解性：	データなし
生物蓄積：	データなし
土壌可動性：	データなし
PPBTとvPvBアッセストメント：	データなし
その他薬物副作用：	水への低危険性

### 13. 廃棄上の注意

廃棄上の留意点：	焼却処分する場合、法令・規制を遵守すること。 再利用が可能であれば、廃棄よりも望ましい。 内容物や容器の破棄は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
残留物・未使用製品の廃棄処理 No.：	080409： 塗布材（ペンキ・ニス・エナメル）、接着剤、密閉材、印刷用インクの製造・供給・使用に伴う廃棄物、接着剤・密閉材（防水製品を含む）、有機溶剤やその他の有害物質を含む接着剤・密閉材の製造・供給・使用に伴う廃棄物は、危険品廃棄物とみなされる。
汚染された容器：	空の容器は、地域の再生・回収・廃棄事業に委ねること。 汚染された容器はできる限り空にし、適切な方法でよく洗浄することで再利用できる。 洗浄されない容器は、製品と同様に処理されなければならない。

### 14. 輸送上の注意

(陸上輸送 - ADR / RID)

国連分類：	F1
国連番号：	1133
国連記載名称：	接着剤
輸送危険レベル：	3
梱包グループ：	II
危険品レベル：	3
制限数量：	5 L/30 kg
輸送分類：	2
ハザード番号：	33
トンネル	3
規制コード：	

## 安全データシート

品番 999-07722-X9-027  
08730-K9008

整理番号： 1.04  
作成： 2015/3/2  
改訂： 2016/12/1

製品名： リペアーシーラー PLOS-16 (INNERLINER OVERBUFF SEALANT PLOS-16)

(内陸水路輸送： ADN)

国連分類： F1  
国連番号： 1133  
国連記載名称： 接着剤  
輸送危険レベル： 3  
梱包グループ： II  
制限数量： 5 L/30 kg

(海上輸送： IMDG)

国連番号： 1133  
国連記載名称： 接着剤 (ナフサ (石油))  
輸送危険レベル： 3  
梱包グループ： II  
海洋汚染： Yes  
EmS： F-E: S-D

(航空輸送)

国連番号： 1133  
国連記載名称： 接着剤 (ナフサ (石油))  
輸送危険レベル： 3  
梱包グループ： II

旅客機制限数量： Y341/1 L

IATA (国際航空運送協会) 梱

包指針 - 旅客機：

IATA 最大数量 - 旅客機： 5L

IATA 梱包指針 - 貨物機： 364

IATA 最大数量 - 貨物機： 60 L

危険環境： 環境的な危険 Yes

ユーザーのための特別な予防 適切な産業衛生や安全方法に従って取り扱い。

措置：

MARPOL73/78の附属書IIおよびIBCコードに応じたバルク 承認された適切な梱包でのみ輸送  
輸送

### 15. 適用法令

労働安全衛生法

： 名称等を通知すべき有害物。有機溶剤中毒予防規則 第三種有機溶剤。危険物 引火性の物 (ナフサ)  
： 名称等を通知すべき有害物。有機溶剤中毒予防規則 第二種有機溶剤。危険物 引火性の物 (トルマルキサン)

化学物質管理促進 (PRTR) 法

： 第1種特定化学物質 (ナフサ・トルマルキサン)

消防法

： 危険物 第四類 第二石油 非水溶性液体 危険等級 II (ナフサ)  
： 危険物 第四類 第一石油 非水溶性液体 危険等級 II (トルマルキサン)

毒劇物取締法

： 非該当 (ナフサ・トルマルキサン)

船舶安全法

： 引火性液体類 (ナフサ・トルマルキサン)

## 安全データシート

品番 999-07722-X9-027  
08730-K9008

整理番号： 1.04  
作成： 2015/3/2  
改訂： 2016/12/1

製品名： リペアーシーラー PLOS-16 (INNERLINER OVERBUFF SEALANT PLOS-16)

---

航空法 : 引火性液体 (ナフサ・ノルマルヘキサン)  
海洋汚染防止法 : 有害液体物質 (ナフサ・ノルマルヘキサン)

安全、健康および環境基準/  
物質または混合物のための特  
別法

(EU規制情報)  
11999/13/EC (VOC)  
(国家規制情報)

雇用の制限： 若者の雇用規制、子をもつ母や看護師のための雇用規制を順守

化学物質安全性評価： 当該物質の化学製品安全性評価は未実施。



## 安全データシート

品番 999-07722-X9-027  
08730-K9008

整理番号： 1.04  
作成： 2015/3/2  
改訂： 2016/12/1

製品名： リペアーシーラー PLOS-16 (INNERLINER OVERBUFF SEALANT PLOS-16)

### 16. その他の情報

略語と頭字語：

原材料メーカーのSDS

ADR = 危険物の陸路での国際な輸送に関する欧州合意  
RID = 危険物の鉄道での国際的な輸送に関する協定  
ADN = 危険物の内陸での国際輸送に関する欧州協定  
IMDG = 危険物のための国際海事コード  
IATA/ICAO = 国際民間航空輸送協会/国際民間航空機関  
MARPOL = 海洋汚染防止条約  
IBC = バルクの化学危険物の運搬船の建造と器材のための国際コード  
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム  
REACH = 登録、評価、認可および化学物質の制限  
CAS = ケミカル・アブストラクト・サービス  
EN = 欧州統一規格  
ISO = 国際標準化機構  
DIN = ドイツ工業規格  
PBT = 持続的生物蓄積性および毒性  
LD = 半数致死量  
LC = 半数致死濃度  
EC = 半数影響濃度  
IC = 半数阻害濃度  
(R-フレーズ関連)  
11 高可燃性  
38 皮膚への刺激性  
50 環境への有害性  
53 長期間にわたる環境への負荷  
65 溜飲した場合の肺への有害性  
67 気化した蒸気をもたらす眠気やめまい  
51 / 53 環境に対する有害性、長期間にわたる環境への負荷  
(H-とEUH-フレーズ関連)  
H225 高可燃性液体と蒸気  
H304 飲込気道に侵入すると生命の危険のおそれ  
H315 皮膚刺激の原因  
H336 ねむけやめまいのおそれ  
H400 水生生物に非常に強い毒性  
H410 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性  
H411 長期的影響により水生生物に毒性

その他情報：

項目4-8のデータについては10-12と同様、本製品を使用もしくは採用することを目的に参照するのではなく（本製品および本製品の使用に当たって、ある程度考慮すべき情報ではあるが）、むしろ事故や予期せぬ重大問題の解消のための参考にして下さい。本データシート情報は、本製品の安全上必要な事項のみを記載したものであり、現時点での研究レベルに基づいています。受渡しの詳細については、製品シートに記載されています。法令の定めるところにより、本データシートに記載されて資料は、一切保証するものではありません。

訂正

品番 999-07722-X9-027  
08730-K9008  
K9009

S D S [製品名 PPG-16 パフソルエアゾール]  
整理番号 [ ]

株式会社フリーマタイヤサプライズ

## 安全データシート

作成 2014年5月9日  
改定 2016年7月15日

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : P P C - 1 6 パフソルエアゾール  
会社名 : 株式会社 フリーマタイヤサプライズ  
住所 : 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-25-14 第二関根ビル 2 階  
担当部門 :  
電話番号 : 03-3358-6908 (FAX 番号 03-3358-6954)  
緊急連絡先 : 同上  
整理番号 :

### 2. 危険有害性の要約

#### 製品のGHS分類、ラベル要素

##### 物理化学的危険性

可燃性又は引火性エアゾール : 区分1  
引火性液体 : 区分3

##### 健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性 : 区分2  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激 : 区分2

##### 急性

発がん性 : 区分2  
生殖毒性 : 区分1 B  
特定標的臓器毒性(単回暴露) : 区分1  
特定標的臓器毒性(単回暴露) : 区分3(気道刺激性)  
特定標的臓器毒性(単回暴露) : 区分3(麻酔作用)  
特定標的臓器毒性(反復暴露) : 区分1  
吸引性呼吸器有害性 : 区分1

##### 環境有害性

水生毒性-急性 : 区分1  
水生毒性-慢性 : 区分2



注意喚起語: 危険

#### 危険有害性情報

極めて可燃性、引火性の高いエアゾール  
引火性の液体及び蒸気  
飲み込むと有害のおそれ  
吸入すると有害のおそれ  
皮膚刺激  
強い眼刺激  
発がんのおそれの疑い  
生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
臓器の障害  
呼吸器への刺激のおそれ  
眠気やめまいのおそれ

長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害  
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ  
水生生物に非常に強い毒性  
長期継続的影響により水生生物に毒性  
物理的及び化学的危険性  
燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物質

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法 No.
エチルベンゼン	30.7	100-41-4	(3)-28 (3)-60
キシレン (異性体混合物)	25~35	1330-20-7	(3)-3 (3)-60
プロパン	10~20	74-98-6	(2)-3
ブタン	18~28	106-97-8 75-28-5	(2)-4

#### 危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

キシレン (異性体混合物)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

エチルベンゼン、キシレン (異性体混合物)、ブタン

化管法「指定化学物質」該当成分

エチルベンゼン、キシレン (異性体混合物)

### 4. 応急措置

#### 一般的な措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。

特別な治療が必要である。

暴露した場合：医師に連絡する。

#### 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

気分が悪い時は、医師に連絡する。

#### 皮膚に付着した場合

多量の水と石鹸で洗う。

直ちに医師に連絡する。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当を受ける。

#### 目に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当を受ける。

#### 飲み込んだ場合

無理に吐かせてはならない。

直ちに医師に連絡する。

### 5. 火災時の措置

#### 適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用する。

粉末消火器、炭酸ガス、乾燥砂。

#### 特有の危険有害性

エアゾール缶が高温にさらされると、缶が破裂する恐れがある。

#### 特有の消火方法

可燃物を周囲から取り除き、高温にさらされるエアゾール缶や周囲の設備には水をかけて冷却する。

#### 消火を行う者の保護

防火服や耐火服を着用する。

断熱手袋や保護眼鏡等を着用する。

### 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩した場合、漏洩物を回収する。作業には適切な保護具を着用する。

#### 環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

#### 回収、中和ならびに封じ込め及び浄化の方法

漏出源を遮断し、漏れをとめる。

少量の場合は、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。

大量の場合は、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

#### 二次災害の防止策

漏出物を回収する。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

すべての発火源を取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

漏出物を取り扱うとき用いる全ての設備は設置する。

関係者以外は近づけない。

### 7. 取り扱い及び保管上の注意

#### 取り扱い

##### 技術的対策

火気厳禁。

電気機材は防爆構造にする他、静電気、スパーク等により着火源を生じないようにする。

静電気対策を行い、作業衣、作業靴は導電性のものを用いる。

##### 安全取扱い注意事項

保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

換気のよい場所で使用する。

必要な保護具を着用する。

#### 配合禁忌等、安全な保管条件

##### 適切な保管条件

高温にすると破裂の危険があるため、直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて保管する。

水のかかる所や湿気の多い所に置かない。

### 8. 暴露防止及び保護措置

#### 成分の暴露濃度基準

成分名	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH
エチルベンゼン	未設定	50ppm	TWA 100ppm
キシレン（異性体混合物）	50ppm	50ppm	TWA 100ppm
プロパン	未設定	未設定	TWA 1000ppm
ブタン	未設定	500ppm	TWA 800ppm

#### 保護具

##### 呼吸器の保護具

換気が十分でない場合は、呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

目の保護具

保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護手袋及び保護衣を着用する。

顔面保護具を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗う。

この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には選択する。

9. 物理的及び化学的性質

	内容液	噴射剤
形状	液体	ガス状 (大気圧下) 液体 (容器内)
色	無色透明	無色透明
臭い	溶剤臭	無臭
pH	データなし	データなし
融点	データなし	-187.7~-138.4℃
沸点	133.0℃	-42.1~-0.5℃
引火点	25.0℃	-104.4~-73.8℃
発火点	データなし	405~550℃
爆発限界	データなし	上限 9.5vol% 下限 1.8vol%
比重	0.8684 (20℃)	0.535~0.555 (20℃)
蒸気密度	データなし	データなし
溶解性	非水溶性	水に微溶

10. 安定性及び反応性

安定性

予期される通常の保管および取扱いの条件において安定と考えられる。

11. 有害性情報

製品に関する有用な情報なし。

個別成分についての有害性情報を記載する。

エチルベンゼン

- 急性毒性 (経口) : LD50=3500mg/kg (ラット) (EHC 186 (1996))
- 急性毒性 (吸入-蒸気) : LC50=17.2mg/L (ラット) (ATSDR (1999), EHC186 (1996))=4,000ppm
- 皮膚腐食性/刺激性 : 15mg/24H open (ウサギ); MILD
- 発がん性 : IARC-G r. 2B; ヒトに対して発がん性があるかもしれない。  
: ACGIH-A3 (1998); 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明。  
: 日本産衛学会-2B; ヒトにおそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質。
- 生殖毒性 : SIDS (2005) et al
- 特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分 2 (中枢神経系) (CERI ハザードデータ集 (1998))  
: 区分 3 (気道刺激性) (CERI ハザードデータ集 (1998))
- 吸引性呼吸器有害性 : hydrocarbon, kinematic viscosity=0.74mm<sup>2</sup>/s (25℃)

キシレン（異性体混合物）

急性毒性（経口）	: LD50=3500mg/kg(ラット)(環境省リスク評価第1巻(2002))
皮膚腐食性/刺激性	: 500mg/24H; MODERATE
眼損傷性/刺激性	: 87mg(ウサギ); MILD 5mg/24H(ウサギ); SEVERE
発がん性	: IARC-Gr. 3; ヒトに対する発がん性については分類できない。 : ACGIH-A4(1992); ヒト発がん性因子として分類できない。
特定標的臓器毒性（単回暴露）	: 区分1(呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓)(CERI・NITE 有害性評価書 No. 62(2004) et al) : 区分3(麻酔作用)(CERI・NITE 有害性評価書 No. 62(2004) et al)
特定標的臓器毒性（反復暴露）	: 区分1(呼吸器、神経系)(CERI・NITE 有害性評価書 No. 62(2004) et al)
吸引性呼吸器有害性	: ID16(2006), ICSC(2002)

プロパン

急性毒性（吸入一気体）	: LC50/2H>55000ppm(4時間換算値>38890ppm)(モルモット)
皮膚腐食性/刺激性	: ヒトでは軽度の紅斑のみが一過性に認められ、皮膚一次刺激性は無視し得る程度であったとの記述。
特定標的臓器毒性（単回暴露）	: 区分3(麻酔作用)

ブタン

急性毒性（吸入一気体）	: LC50/4H=277374ppm(ラット)
特定標的臓器毒性（単回暴露）	: 区分3(麻酔作用)

---

## 12. 環境影響情報

製品に関する有用な情報なし。

内容液及び個別成分についての有害性情報を記載する。

水生毒性（内容液）

水生生物に非常に強い毒性。

長期的影響により水生生物に毒性。

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

エチルベンゼン

水生毒性	: LC50=0.4mg/L/96H(甲殻類; ブラウンシュリンプ)(CERI・NITE, 2006)
水溶解度	: 0.015g/100mL(20℃)(ICSC, 2007)
残留性・分解性	: 本質的に易分解性があり、水中から速やかに揮散する。(SIDS, 2005)
生体蓄積性	: log Pow=3.1(ICSC, 2007)

キシレン（異性体混合物）

水生毒性	: LC50=3.3mg/L/96H(魚類; ニジマス)(CERI・NITE, 2005)
生体蓄積性	: log Pow=3.16(PHYSPROP Database, 2005)

---

## 13. 廃棄上の注意

※ 廃棄する際には、ガス（噴射）を完全に抜いた状態で行う。

残余廃棄物 : ガスを完全に抜いた後の内容液は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄処理業者と委託契約をして、処理を委託する。

汚染容器及び包装 : 中味を使い切ってから、火気のない戸外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを完全に抜いてから各地方自治体の規則に従って廃棄する。

#### 14. 輸送上の注意

共通注意事項	: 取扱い及び保管上の注意の項を参照するほか、運搬に際しては容器を40℃以下に保ち、容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下損傷がないように積込み、荷崩れの防止を確実に行う。
国際規制	
国連番号	: 1 9 5 0
国連分類	: 2. 1
国内規制	
陸上規制情報	: 消防法、高圧ガス保安法の定めるところに従う。
海上規制情報	: 船舶安全法、港則法の定めるところに従う。
航空規制情報	: 航空法の定めるところに従う。
緊急時応急措置指針番号	: 1 2 6 (容器イエローカード指針番号)

#### 15. 主な適用法令

消防法	: 危険物 第四類第二石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ
労働安全衛生法	: 危険物 可燃性のガス、引火性の物 : 表示対象物質 キシレン (異性体混合物) : 通知対象物質 エチルベンゼン、キシレン (異性体混合物)、ブタン : 有機溶剤中毒予防規則 第二種有機溶剤等 キシレン(異性体混合) : 健康障害防止指針公表物質 エチルベンゼン
化学物質管理促進(PRTR)法	: キシレン、エチルベンゼン
高圧ガス保安法	: 適用除外 (液化ガス・可燃性ガス) 但し、政令告示並びに高圧ガス保安一般規則規定に従う。
船舶安全法	: 引火性高圧ガス
港則法	: 引火性液体類及び高圧ガス
航空法	: 高圧ガス (エアゾール)
海洋汚染防止法	: 有害液体物質(Y類) エチルベンゼン、キシレン (異性体混合物)

#### 16. その他情報

##### 参考文献

- JIS Z 7253:2012「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
- GHS 分類結果データベース (独立行政法人製品評価技術基盤機構-NITE)
- 液化石油ガス SDS
- 原材料メーカーの SDS

##### <注意事項>

本データシートは通常の取り扱いを対象とし、ここに記載された内容は現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見に基づいて作成したものです。いかなる保証もするものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには充分注意して、使用者の責任において適正に取り扱って下さい。また、特別な取り扱いをする場合には、ご使用者の責任において新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえでお取り扱いをお願いします。